株式会社テラジマアーキテクツ
プレスリリース：2026年11月17日

テラジマアーキテクツの協力業者会「建心会」20周年 ー 建築業界・人手不足時代の施工品質を支える「協働」の仕組み

技術と志を受け継ぐ、熟練の職人集団。20周年を機にロゴを策定し現場で可視化へ



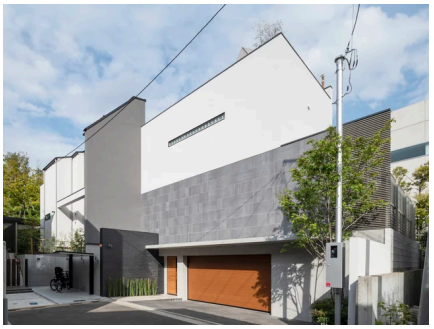
20周年を機に策定された、職人集団・建心会のロゴマーク

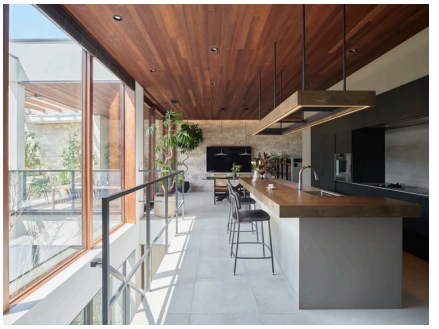
建設業界における担い手不足が深刻化する中、工務店が安定した施工品質を維持し、上質な住まいを提供し続けるためには、個々の職人の技能だけでなく、職種を越えた連携を支える「仕組み」を整えることが重要になっています。

東京・神奈川を中心に高級注文住宅・リノベーションを手掛ける株式会社テラジマアーキテクツ（本社：東京都目黒区、以下「テラジマアーキテクツ」）が運営する協力会社・職人のネットワーク「建心会」は、2026年に発足20周年を迎えました。現場での交流に加え、毎年年末に開催する「建心会総会」や勉強会など、定期的に設ける場を通じて連携を深め、安定した施工品質を支えてきました。

この度、20周年を記念してロゴを制作し、現場での掲示などを通じて、建心会の活動の可視化と会員の意識向上に取り組んでいます。

施工の担い手不足の時代に、品質を守るために





現場の担い手不足や技能の課題が顕在化する中、住宅・建築の品質は、個々の技術力だけでなく、工程全体を通じた「協働の質」に大きく左右されます。関わる職種が多いほど、段取りや仕様確認、納まりの調整といった「見えない負荷」が増え、初めて顔を合わせる職人同士では、行き違いや待ち時間、手戻りが起きやすくなります。こうした調整にかかる負担は、工程の余裕を奪い、仕上がりや安全確保、近隣への配慮などに影響を及ぼす要因になります。

長期的な協働関係がある現場では、職種を越えた共通言語が育ち、判断と調整が速くなります。待ち時間や手戻りが減ることで、現場に余裕が生まれ、納まりや仕上げの精度を高める作業、確実な検査に時間を充てられるようになります。

テラジマアーキテクツでは、施工品質を持続的に支えるために、**協力会社・職人との長期的な協働関係を育てることが重要**だと考えています。

「建心会」の価値 ―「顔の見える家づくり」と、20年の協働がつくる「意見を言い合える」関係性がさらなる高品質を生み出す

「建心会」という名称は、建心会事務局長である株式会社テラジマアーキテクツ・執行役員の今村が、「心で建てる」という想いを込めて命名したものです。ここでいう「心」には、お客様に誠意を尽くす姿勢に加え、長期的な協働の土台となる「ものづくりへの志や価値観」を共有するという意味が込められています。

こうした共有は、フルオーダーメイドの住まいづくりにおいて、**設計意図を正確に伝え、工程間の意思疎通の精度を高める**うえで重要であり、施工品質の安定につながると同社は考えています。

テラジマアーキテクツでは、ほぼすべての建物を「建心会」とともにつくることを、お客様への約束としています。一定水準以上の技術を持つ職人が施工を担い、誰がどの工事を担当したかを明確にすることで、品質を確保し、施工の責任を明らかにしてきました。

長年にわたる協働の蓄積は、引き渡し後のアフターメンテナンスにも活かされています。同社は社内にアフターサービス部門（以下、CS）を設け、年間約400件以上のアフターメンテナンスに対応しており、**数十年前に引き渡した建物でも、ほぼすべての工種で当時担当した職人を確認できます**。当時の職人が対応する場合には、記録に加え、施工時の状況や納まりについての記憶も活かしながら、点検・補修に取り組むことができます。

建物をつくった人とのつながりが、引き渡し後も続くこと。CSと建心会が連携するこの体制は、同社の強みであり、お客様の安心と長期的な信頼を支える基盤となっています。





そして、テラジマアーキテクツと「建心会」は、元請・下請の関係にとどまらず、**設計士と職人が対等に意見を交わし、現場から改善提案が上がる関係性**を強みとしています。（参照：本リリース内「職人・社員の声を、今後の協働へ」）

設計士のこだわりと職人の経験・技術をすり合わせ、時には互いの意見をぶつけ合いながら、仕様や施工方法の改善を重ねてきました。こうした20年にわたる積み重ねが、現在の仕様につながっています。設計士と職人が率直に意見を交わせる関係性は、**設計施工一貫体制の強みを最大限に引き出す重要な要素**となっています。

定例の場で学びを重ね、連携を育む ― 職人による役員会と社内事務局が運営を分担

テラジマアーキテクツは、「建心会」との関係を上質な住まいづくりの重要な基盤のひとつと位置づけ、大切にしています。建心会には、20年にわたり参加する職人もいれば、新たに加わる職人もいます。現場ではそれぞれの作業に集中するため、経験年数や職種を越えて交流する機会は限られます。そこで、「建心会総会」や勉強会など、定期的に一同が集う場を設け、共通理解を深めながら、連携と学びを重ねています。

「建心会総会」では、参加者が職種や会社の垣根を越えてランダムに着席し、テラジマアーキテクツの各部門が、その年の取り組みや成果、現場での注意事項、次年度の目標を共有します。

「建心会」との連携の機会が最も多い施工管理部門からは、現場ルールの再確認や好事例の紹介を行い、CSからは、過去の施工が数年後のお施主様の暮らしにどう影響しているのか、建物の経年の変化

の様子や対応策、実際のお施主様の声を伝えています。現場で得られた学びを全体で共有し、認識のずれを減らすことで、連携の精度を高める機会としています。

　加えて、設計部門による竣工物件の紹介は、職人や協力会社が完成後の住まいに触れる機会が限られる中で、**「自分たちの仕事がどう暮らしにつながったか」**を共有する場として好評です。



定期勉強会の様子



現場での勉強会も開催

　また、バーベキューや旅行、ゴルフなどの懇親行事は、「建心会」の役員（いずれも職人）が中心となって企画・運営しています。現会長は水道工事の職人であり、長年参加するメンバーが自発的に交流の場をつくり続けています。こうした活動には、「建心会」の横の連携の強さと、会への愛着が表れています。

　運営面では、テラジマアーキテクツ社内に事務局を置き、職人による役員会と役割を分担しながら活動を継続・発展させています。こうした定期的な交流と学びの場が、現場でのコミュニケーションを円滑にし、段取りの改善や安定した施工品質を支える土台となっています。

20周年を機にロゴを策定、現場での「一体感の可視化」を推進

　こうした連携と一体感を「見える形」で表す取り組みの一つが、20周年を記念したロゴの制作です。テラジマアーキテクツ社内の有志の発案で制作を進め、2025年の「建心会総会」に参加した職人・協力会社の投票により決定しました。協働の当事者が自ら選んだ象徴として、建心会への愛着と誇りをさらに育むことを目指しています。

職人集団
建心会
TERAJIMA ARCHITECTS



　このロゴは、職人集団がスクラムを組んで建築にあたる姿を表現しています。現在、建心会旗や現場での掲示物、ヘルメット・道具箱などに貼るステッカーへの活用を進めています。

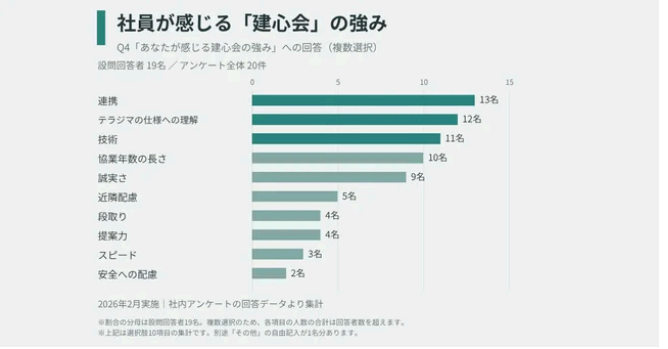
職人・社員の声を、今後の協働へ

　20周年にあたり、2026年2月に社員および「建心会」の職人・協力会社を対象としたアンケートを実施しました。
　職人からは「知っている職人と仕事がしやすい」「納まりや進め方について意見を出しやすい」といった声が寄せられました。一方で、安定した発注や段取り・情報共有の改善を求める意見もありました。社員からも、現場で築いた関係を大切にする声とともに、設計段階から職人の意見を取り入れたいという提案が挙がっています。調査概要と寄せられた意見は、以下公式ブログで詳しく紹介しています。

［建心会20周年――職人と社員の声から考える、これまでとこれから］
https://www.kenchikuka.co.jp/27345/

　テラジマアーキテクツは、これらの声を「建心会」の今後の運営や連携体制の改善に活かし、さらなる高品質な住まいづくりを目指して取り組みを進めてまいります。





■「建心会」とは
https://www.kenchikuka.co.jp/kenshinkai/about/

■「建心会」職人インタビュー
https://www.kenchikuka.co.jp/kenshinkai/

■職人集団・建心会　20周年ANNIVERSARY MOVIE
https://youtu.be/sJ2gdPWfasc

株式会社テラジマアーキテクツについて

・商号：株式会社テラジマアーキテクツ
・代表取締役社長：寺島茂
・本店所在地：東京都目黒区自由が丘2-10-4　　ミルシェ自由が丘６F
・設立年：1958年
・主な事業内容：建築工事及び土木工事の請負、設計・施工・管理及び監督、建築企画のコンサルティング、地域の総合開発の企画・立案
・資本金：3,000万円
・社員数：30名
・平均年齢：43歳

≪テラジマアーキテクツは、住まいづくりを通じて都市で暮らす人の多様なライフスタイルをサポートする企業です≫
株式会社テラジマアーキテクツは、1958年に工務店として創立し、現在は多くの建築家を擁する設計事務所+工務店です。東京・神奈川（一部除く）にて住宅の設計施工や戸建・マンションのリノベーションを行っています。都市部ならではの住まいへのニーズを熟知した建築家たちが、「上質な暮らしの創造」というビジョンのもと、その場所において最も心地よく暮らせる住宅を一棟一棟デザインし形にしています。住まい手のライフスタイルや価値観を体現し、その人に最適化した一棟を作り上げることを強みとしています。
私たちはすべての人の多様な価値観、ライフスタイルを肯定し、住まいづくりを通じて都市の人の暮らしをサポートし続けてまいります。

コーポレートサイト：
https://www.terajima.co.jp/

「建築家と建てる家」テラジマアーキテクツサービスサイト：
https://www.kenchikuka.co.jp/

公式SNSのご案内：
https://www.kenchikuka.co.jp/sns/

デジタルマガジン「More Life Lab.」：
https://morelifelab.jp/

本件に関するお問い合わせ

株式会社テラジマアーキテクツ　　担当 本橋

TEL：03-5726-9933

E-mail:pr@terajima.co.jp

当プレスリリースURL

https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000049.000022481.html

株式会社テラジマアーキテクツのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/22481